

川崎市には、たくさんの猫が暮らしています。

小さい猫に、大きい猫。

毛の長い猫に、短い猫。

そして、家の中で暮らす飼い猫に、外で暮らす野良猫。

また、川崎市には、たくさんの方が暮らしています。

猫を可愛がり、猫に癒されている人もたくさんいますが、

猫の被害に困っている人もたくさんいます。

川崎市には、年間約2000件もの猫の苦情が寄せられています。

これは他の動物に比べてとびぬけて多い数です。

また、苦情の多くは外で暮らす猫が原因です。

野良猫被害に困っている人も、猫を助けたくてエサをあげている人も、

地域にいる野良猫を減らしたいという気持ちは同じです。

野良猫問題を解決する方法として、「地域猫活動」が注目されています。

地域猫活動とは、地域の野良猫によるフンや鳴き声などの問題を解決するため、地域の方々の理解のもと、猫の不妊去勢手術やルールに沿ったエサの管理など、適正に猫を管理していく活動のことです。今以上に猫を増やさず、猫による被害を減らすことで、地域の生活環境をより良くし、暮らしやすい地域づくりにつなげることを目的とします。

地域猫活動を進めるには、

地域猫活動の具体的な進め方やその目的について、回覧板やチラシの配布などで地域の方々にお知らせします。

また、活動状況についても定期的にお知らせします。

活動する地域の全ての野良猫に不妊去勢手術をします。

手術後は、手術済のしるしとして耳先を少しカットして、元の場所に戻します。

猫への正しいエサやりのルールを守ります。エサの置きっ放しはしません。

猫用のトイレの設置などにより、フン尿の被害を少しでも減らすようにします。

地域猫活動では、地域で問題意識を共有し、猫をきちんと管理して、被害を減らしていきます。

また、地域で猫を管理する方、地域住民の方、行政の三者協働で活動を進めていきます。

そして、生活環境をより良くし、暮らしやすい地域を目指します。

川崎市では、地域猫活動をさらに推進するため、

「地域猫活動サポーター登録制度」を導入しました。

地域猫活動サポーターへの支援内容を紹介します。

サポーター登録した方にサポーター証を交付します。

サポーターは、サポーター証を携帯して地域猫活動をします。

サポーター証は活動の公共性の証であり、地域の理解・活動の継続に役立ちます。

野良猫の手術費用を、オス~~4,000円~~ 6,000円    メス~~6,000円~~ 8,000円※ を上限に補助します。  
6,000円    8,000円※    ※令和5年4月～変更

手術頭数に制限はありません。

補助を受けるには、市が指定した協力動物病院で手術し、区役所に申請します。

サポーターが管理する猫を無料で手術することができます。

動物愛護センターの「野良猫手術室」で、市職員が手術します。

猫の捕獲や動物愛護センターまでの搬送等はサポーターが行います。

猫の捕獲用ケージについて、期間を定めて無料で貸し出します。

使い方がわからない方のためのマニュアルもあります。

また、市職員が使用方法をレクチャーすることもできます。

そのほかにもサポーター連絡会議の開催や、

地域への広報用のチラシの印刷等の支援をします。

地域猫活動に興味がある方、

地域猫活動サポーターに登録を考えている方、

各区役所衛生課までお問い合わせください。

#### お問合せ先

川崎区役所衛生課	(044)	201-3223
幸 区役所衛生課	(044)	556-6681
中原区役所衛生課	(044)	744-3271
高津区役所衛生課	(044)	861-3322
宮前区役所衛生課	(044)	856-3270
多摩区役所衛生課	(044)	935-3306
麻生区役所衛生課	(044)	965-5164